TOSHIBA　東芝ＦＨＰタウンシップ防犯灯取扱説明書

保管用

このたびは東芝ＦＨＰタウンシップ防犯灯をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。
お求めの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。　◎素人工事は法律で禁じられております。
この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図が違っている場合があります。

対象機種	自動点滅器	定格電圧	適合ランプ（別梱包）
ＦＫ－３２６００－ＰＭ	―――――	100V～242V	東芝コンパクト形蛍光ランプ　ＦＨＰ３２
ＦＫ－３２６００Ｐ－ＰＦ１７	器具内蔵形	100V	
ＦＫ－４５６００－ＰＭ	―――――	100V～242V	東芝コンパクト形蛍光ランプ　ＦＨＰ４５
ＦＫ－４５６００Ｐ－ＰＦ１７	器具内蔵形	100V	

■安全上のご注意　商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損傷を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

■工事店様へ　工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

施工上のご注意

⚠警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

●器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従って行ってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災の原因となります。
●電源線接続の際は、取扱説明書に従って行ってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因となります。
●器具と被照射面との距離は０．３ｍ以上離してご使用ください。照射距離が指定よりも近すぎると、被照射物の変質、変色、火災の原因となります。
●施工時において絶縁体にナイフ等のキズが付いた状態で通電されますと、絶縁破壊が生じ電線が焼損する原因となります。

取り付け

●アース工事は電気設備の技術基準に従い確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。
（Ｄ種（第三種）接地工事）

アース工事

●器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。器具落下、感電、火災等の原因となります。

改造

●この器具は、腐食性ガス雰囲気場所には使用しないでください。そのまま使用しますと、変質、変色、絶縁不良、器具落下の原因となります。
●この器具は、激しい振動・衝撃の加わる可能性のある場所、常時振動のある場所では使用しないでください。そのまま使用されますと絶縁不良、器具落下の原因となります。
●この器具は、防湿形ではありませんので、湿気の多い場所には使用しないでください。湿気の浸入による絶縁不良、感電の原因となります。

使用環境

⚠注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

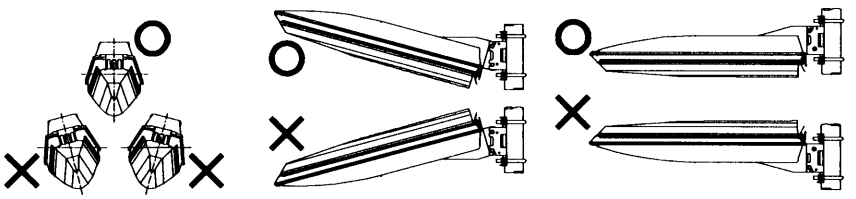
●器具（安定器、ランプ）の定格電圧と電源電圧（定格±６%）は、器具の取り付けの際に必ずご確認ください。間違って使用しますと、安定器、ランプ等の短寿命、火災の原因となります。
●雰囲気温度が３５℃を越える場所では使用しないでください。点灯不良、火災の原因となります。

使用環境

●風速６０ｍ／秒を越える場所では使用しないでください。落下の原因となります。
●器具に１ｍ以上の雪が積もる恐れのある場所では使用しないでください。そのまま使用されますと破損、落下の原因となります。
（使用する場合は必ず除雪を行ってください。）

●器具の取り付けには方向性があります。
本体表示並びに取扱説明書に従って行ってください。指定以外の取り付けを行うと絶縁不良、感電、部品の焼損の原因となります。

取り付け


水平以外の取付禁止　上向き１５°取付の場合　水平取付の場合

●お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

使用上のご注意

■お客様へ

⚠警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

●ランプ交換やお手入れの際は、取扱説明書に従って行ってください。落下、感電、火災の原因となります。
●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
●ランプや器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすいものを近づけたりしないでください。火災の原因となります。

●ランプ交換の際は、必ず本体表示並びに取扱説明書通りの種類・ワット（Ｗ）数の適合ランプをご使用ください。適合ランプ以外をご使用の場合は、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。
●ランプ交換等によりグローブ、ランプを外し再度取り付ける場合には、取扱説明書に従ってください。取り付けに不備がありますとグローブ、ランプの落下、感電の原因となります。

ランプ交換

⚠注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

●点灯中及び消灯直後はランプ及び器具が高温となっておりますので、手を触れないでください。やけどの原因となります。

ランプ高温

●この器具の平均的な寿命の目安は、使用条件、使用場所、環境により異なりますが約１０年です。（定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。）
●無負荷状態およびランプ不点の状態での放置はおやめください。電波障害などが生じる原因となります。

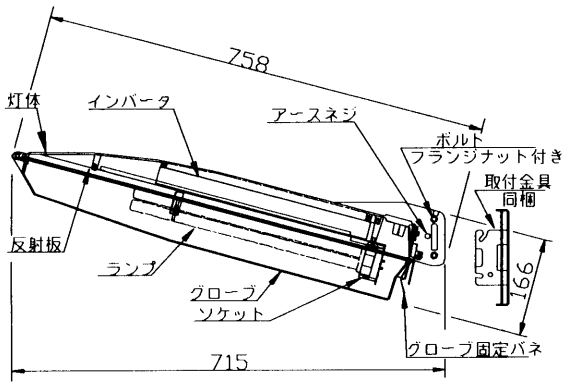
使用環境

●ランプを掃除する際は器具から外して乾いた布で拭いてください。
●器具を掃除する際は乾いた布か、水に浸した布をよく絞ってから拭いてください。
●金属部分をクレンザーやたわしで磨かないでください。傷付けたり、腐食の原因となります。
●器具を洗剤・薬品などで拭いたり殺虫剤をかけないでください。器具の破損、落下、感電等の原因となります。

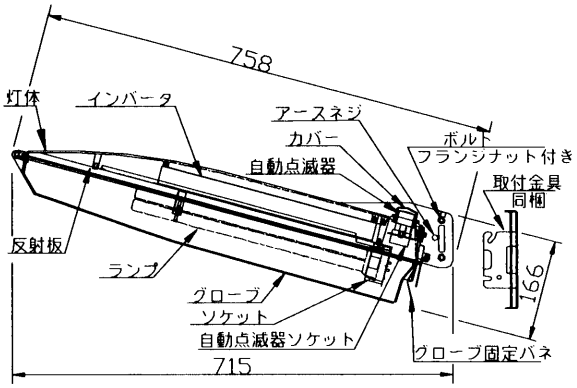
保守

■各部のなまえ

FK－32600－PM
FK－45600－PM
器具重量：3.2kg



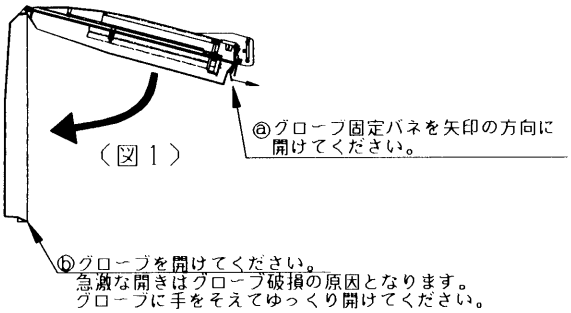
FK－32600P－PF17
FK－45600P－PF17
器具重量：3.2kg

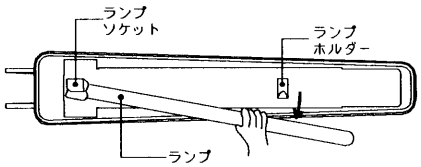


■ランプ交換について

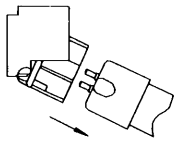
①ランプ交換はグローブを開けて（図１）から行ってください。
②ランプをソケットから図２、３の手順で外してください。
●消灯直後はランプ及び器具が高温となっておりますので、手を触れないでください。
やけどの原因となります。

ランプ交換





（図２）


（図３）

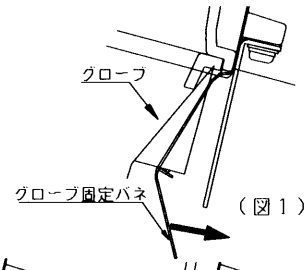
③ランプ発光管を持って矢印の方向にランプホルダーから外してください。（図２）
※その際、手を添えてゆっくり行ってください。破損の原因となります。
④その後、（図３）の方向へランプを引き抜いてください。
⑤ランプ組付けは逆の手順で行ってください。
※その際ランプ口金部はソケットに確実に挿入してください。

■グローブの開閉方法

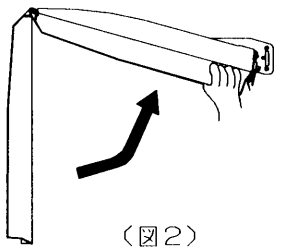
ランプ交換や清掃等のメンテナンス時は、次の方法によりグローブを開閉してください。
●グローブの開きかた
グローブに手を添えてグローブ固定バネを矢印の方向に引いてください。（図１）
急激な開きはグローブ破損の原因となりますのでご注意ください。

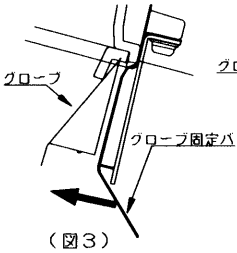
●グローブの閉めかた
グローブを手で持ち上げて灯体に押し付けてください。（図２）
その際、グローブの縁が灯体パッキンの平坦部に均一に乗っていることを確認してください。（図３）ズレがありますと、水の浸入による絶縁不良や感電の原因となります。
グローブを押し付けながら、グローブ固定バネを矢印の方向に「カチッ」とするまで入れてください。締め付けが不十分ですと、水の浸入による絶縁不良や感電の原因となります。
※グローブの勘合部に凸部があり、バネがこれを越えるように固定してください。（図４ａ部）
グローブ固定バネに無理な力を加えないでください。変形・破損の原因となります。

●グローブを外す際は９０°開いた位置にておこなってください。（図５）

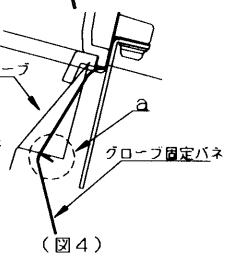


（図１）

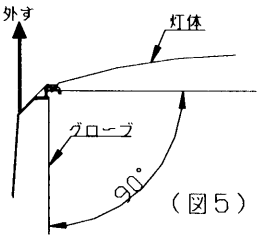

（図２）



（図３）



（図４）

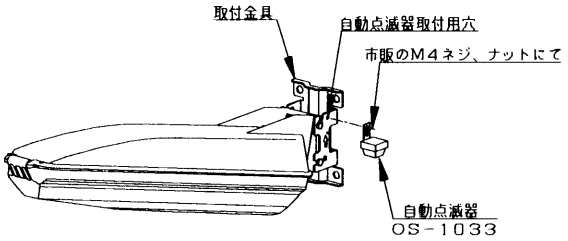


（図５）

■自動点滅器の取り付けかた（ＯＳ－１０３３別売りの場合）

自動点滅器を内蔵していない器具にご使用の場合は以下の要領で自動点滅器（ＯＳ－１０３３ 別売）を取り付けてください。

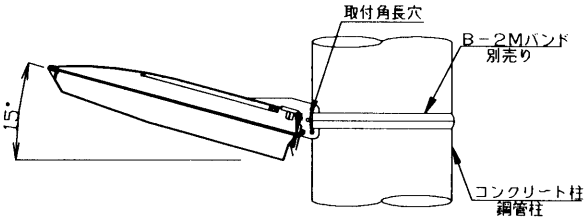
①器具を取り付け後、取付金具の自動点滅器取付用穴を用いて、自動点滅器（ＯＳ－１０３３）を取り付けてください。
②自動点滅器の口出線を用いて電源及び器具に結線してください。
③周囲の明りにより誤動作する場合は別途取付位置をご検討ください。



取り付け

■器具の取り付けかた（取付金具を使用しない場合）

①取り付ける柱はコンクリート柱、銅管柱でφ１９０～φ３５０まで取り付け可能です。
（取付用のバンドは別途にお買い求めください。）
【取付バンド（Ｂ－２Ｍ）による取り付け】
１．取付バンドを灯体の取付角長穴に通してください。
２．取付バンドを柱に巻き付け、堅個に締め付けてください。
※取付金具を使用しない場合、器具の取付角度は１５°のみとなります。
同梱の取付金具と灯体に仮組付けのボルト、フランジナットは使用しない為、廃却ください。



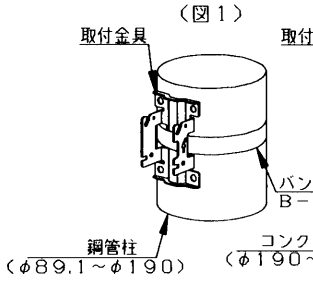
取り付け

■器具の取り付けかた（取付金具を使用する場合）

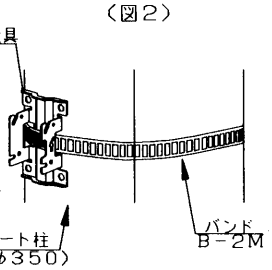
①取り付ける柱の種類等により次の様に取り付けてください。
（取付用のバンド、ボルト類は別途にお買い求めください。）

●鋼管柱に取付ける場合（φ８９．１～φ１９０まで）（図１）
【取付バンド（Ｂ－３）による取り付け】
１．取付バンドを取付金具（同梱）の取付角長穴に通してください。
２．取付バンドを柱に巻き付け、堅固に締め付けてください。

（図１）

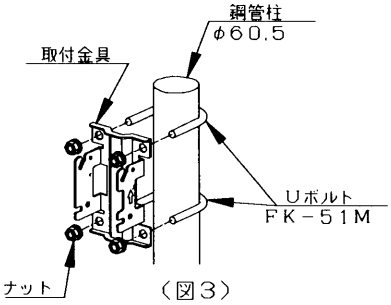


（図２）



取り付け

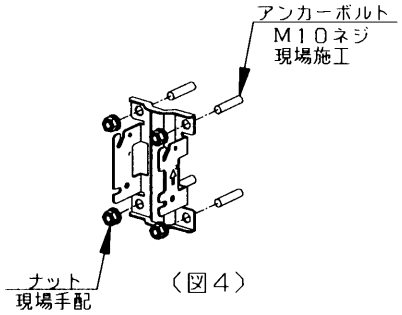
●コンクリート柱に取り付ける場合（φ１９０～φ３５０まで）（図２）
【取付バンド（Ｂ－２Ｍ）による取り付け】
１．取付バンドを取付金具（同梱）の取付角長穴に通してください。
２．取付バンドを柱に巻き付け、堅固に締め付けてください。



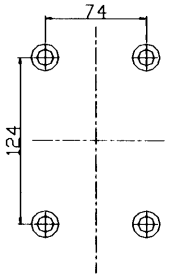
（図３）

●鋼管（φ６０．５mm柱）に取り付ける場合（図３）
【Ｕボルト（ＦＫ－５１Ｍ）による取り付けかた】
１．Ｕボルト（２個）を鋼管にはめ込み、取付金具（同梱）の取付穴に先端を通してください。
２．ナットを取り付け、Ｕボルトと取付金具で鋼管をはさみ込むようにして堅固にナットを締め付けてください。

●壁面に取り付ける場合（図４、図５）
１．図５の寸法で壁面にアンカーボルトを施工してください。
２．取付金具をアンカーボルトに取り付け、ナットにて堅固に締め付けてください。
※アンカーボルトは壁面から２０～３０mmの長さで施工してください。

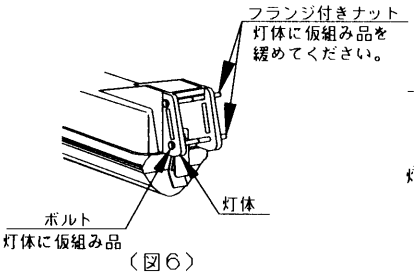


（図４）

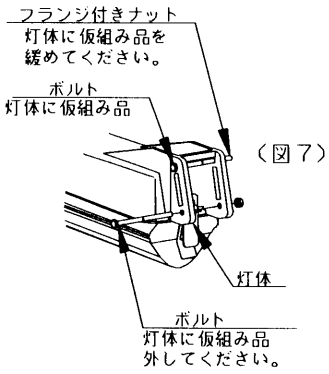


（図５）

②灯体を取付金具に取り付ける前に灯体に仮組付けされているボルトを緩めてください。
１．先端上向き１５°取り付けの場合は図６の様に上下２本共にフランジ付きナットを緩めてください。
２．０°取り付けの場合は図７の様に上側フランジ付きナットを緩め、下側のみボルトを外してください。



（図６）

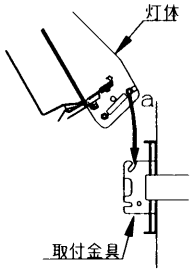


（図７）

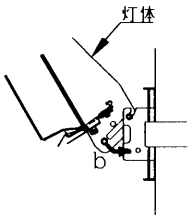
③灯体を取付金具に取り付けてボルト、フランジ付きナットを堅固に締め付けてください。
ボルト、フランジ付きナットの締め付けトルクは最大5.2N･m(53kgf･cm)以下にて行ってください。
１．上向き１５°取り付けの場合は図８、図９の手順でセットしてください。
（器具先端を上向き約６０°方向に向けボルトａの取り付けを行ってください。）

２．０°取り付けの場合は図１０、図１１の手順でセットしてください。
（器具先端を上向き約６０°方向に向けボルトａの取り付けを行ってください。）
セット後、図７で外したボルト、フランジ付きナットにて下側を組み付けてください。（図１２）

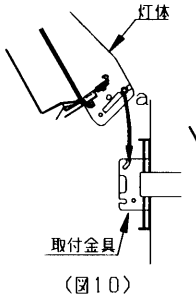
１５°取付の場合　　０°取付の場合



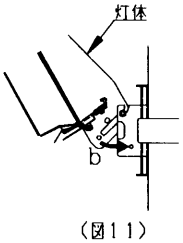
（図８）



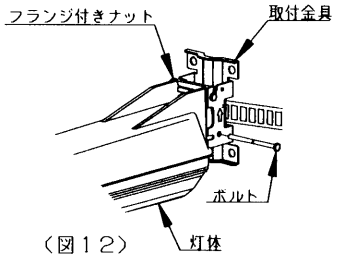
（図９）



（図１０）

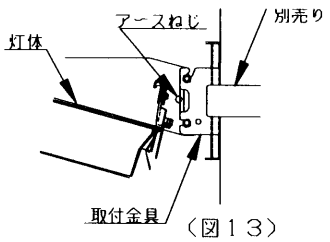


（図１１）



（図１２）

④灯体のアースねじを用いて、Ｄ種（第３種）接地工事を行ってください。（図１３）



（図１３）

⑤ランプ（別梱包）をソケットに組付けてください。
（２ページ　ランプ交換について　を参照ください。）

⑥電源線を結線してください。

■自動点滅器交換のしかた（器具内蔵形の場合）

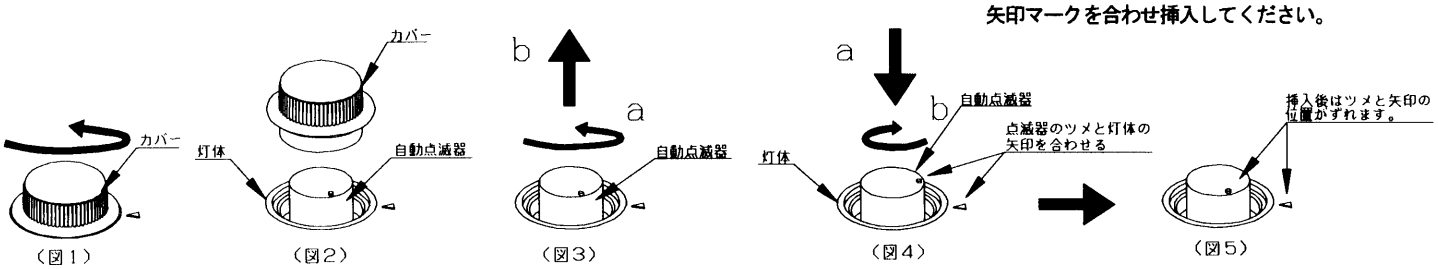
自動点滅器を交換される場合は以下の要領で交換してください。
自動点滅器は灯体背面よりの交換となります。

①自動点滅器のカバーを回して外してください。（図１）、（図２）
　外したカバーはなくさないよう注意してください。
②自動点滅器を外してください。（図３ａ、ｂの手順にて）
③新しい自動点滅器をソケットに取りつけてください。（図４ａ、ｂの手順にて）、（図５）
　必ず器具内蔵用ＯＳ－１０３２をご使用ください。
④上記手順と逆の手順で組付けてください。

取り付け

※カバーはしっかりと締めてください。不十分ですと器具内への水の浸入による
　絶縁不良、感電の原因となります。
　Ｏリングパッキンが劣化していないか確認ください。

※挿入時には、自動点滅器のツメと灯体の
　矢印マークを合わせ挿入してください。

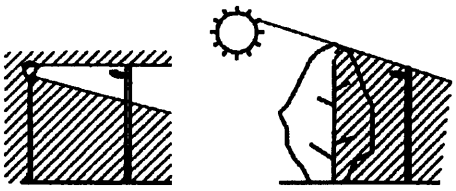


（図１）　（図２）　（図３）　（図４）　（図５）

■使用上のご注意

①ランプが高温になりますので、燃えやすい物を近づけないでください。
②自動点滅器内蔵の器具について
　Ｏ自動点滅器が内蔵されていますので、器具取り付け位置によっては誤動作を生じる場合があります。街路照明の近くなど夜間でも明るい場所、木の生い茂った陰、橋脚の下などの昼間でも暗い場所で使用する場合は自動点滅器非内蔵形の器具を使用して、別置形自動点滅器を適切な位置に取り付けてください。（下図参照）

取り付け



■お手入れのしかた

①器具お手入れの際は、必ず電源スイッチを切ってください。
　消灯直後は器具やランプが高温となっていますので、しばらく（２０～３０分程度）時間をおいてからお手入れを行ってください。

②器具の外面やグローブの内外面の汚れは、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってからふきとってください。器具内のソケットや安定器などの電気部品に水滴がつかないよう十分注意してください。

③ランプや器具内の反射板は、乾いたやわらかい布で拭いてください。
　ランプは、ソケットからはずして清掃してください。

保守

④ホースなどで直接器具に水をかけないでください。また、モップやデッキブラシなどを用いた清掃を行わないでください。器具内への浸水や器具の破損の原因となります。

保守

■保守・点検のために

（施工記録）ランプ交換など保守のために、下表内容を確認の上、適切な保守用品をお求めください。

器　具　品　番		保守作業上の注記
取 付 年 月 日		
使用ランプ品番		

保証について
・保証期間は、商品お買い上げ日より１年間です。但し、蛍光灯器具・ＨＩＤ器具の安定器（インバータバラスト含む）については３年間です。
・ランプ、点灯管、蓄電池などの消耗品やセード、リモコン送信機は対象外です。
・２４時間連続使用など、１日２０時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

・ご転居されたり、ご贈答品などで（販売店）工事店に修理のご相談ができない場合
『東芝家電修理ご相談センター』　0120−1048−41
・新製品などの商品選び、お取扱い・お手入れ方法などのご相談
『東芝家電ご相談センター』　0120−1048−86
携帯電話・PHSからのご利用は　03−3426−1048（有料）
※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

電話で 365日 24時間 お応えします

・「東芝家電修理ご相談センター」「東芝家電ご相談センター」は東芝テクノネットワーク株式会社が運営しております。
・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
　利用目的の範囲以内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

東芝ライテック株式会社　電材事業部　〒140-8660 東京都品川区南品川 2-2-13（南品川JNビル）　TEL.(03)5463-8776　FAX.(03)5463-8824

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

００３１５８９Ａ